

有限会社山田溶接工業

事業計画名

新型ベンドマシン導入による競合他社との優位性確立と受注拡大

設備導入と高い技術力で設計・溶接・塗装・組立まで内製化
大型筐体、コンテナ製造分野のナンバーワン企業を目指す



新型ベンドマシン導入でステンレス3mm厚にも対応可能となった。

事業の背景・目的

当社は、各種筐体、コンテナを中心に製造しており、最終ユーザーはNHK、防衛省、発電所、製油所等で、北海道から沖縄まで当社の製品が設置されている。また、全国の宝くじ売り場のユニットも数多く製造している。これらは、発注元のニーズを的確に把握し、設計・溶接・塗装・組立までの一連の工程を内製化できる高い技術

を備えた人員によるチームワークによるものと自負している。しかし、電力、放送局向け諸設備防護用コンテナが大型化し、鋼材加工にはますます高度な技術が要求されつつある。また、従業員の負担、安全性の面からも自動化する必要がある。

企業データ

精密板金加工

鉄・ステンレス・アルミの溶接。筐体・タンク等の制作・加工・組み立てまで。現場溶接等。焼付け・粉体塗装・溶融亜鉛メッキ
創業以来、より確かな製品をお客様に提供するため、従業員はJISの溶接免許を取得し、多様な溶接に対応できるよう日々努力しております。



代表取締役 山田 利喜雄

代表者	山田 利喜雄
住 所	米沢市窪田町藤泉708-1
電 話	0238-37-2845
F A X	0238-37-5788
e-mail	yamadayk@estate.ocn.ne.jp
U R L	http://www.yamadayk.com
設立年	昭和61年7月
資本金	500万円
従業員	17名

事業内容

以前、台風の多い沖縄県内に設置する防水、防錆の対策を施す筐体の依頼があった。ステンレス3mm厚の大型筐体であったため、現有設備での対応が困難であり、断ることも検討したが、永年の取引先からの依頼であるため、リスクを覚悟し、現有設備で対応した。

年々高度化する取引先からのオーダーと従業員の負担軽減、安全性確保のために、追従装置付きのバンドマシンを導入した。

ステンレス3mm厚の場合、1枚の重量が約108kgに

もなるため、導入以前は、5人掛かりで下から持ち上げ曲げていた。追従装置付きのバンドマシンを導入したことにより、5人で持ち上げることなく2人で作業することが可能となった。

機械化したことで、今以上に大型化する顧客の依頼に対応した製品の受注拡大が期待できる。加えて、作業員の安全面、身体への負担の面でも良好になり、省力化により、他の作業が可能となった。

事業の成果

設備導入により、当社の技術力を維持したままで、大型化する筐体等製造時間短縮、低コストを図ることができた。また、従業員の負担軽減、安全性も確保できた。

筐体完成までの一連の工程の約20%を占めていた曲

げの作業時間が約12%削減可能となり、受注許容量の増加が見込まれた。これまで5人を要していた作業が2人で可能になったため、3名が他の作業に従事できるようになった。

今後の展望

現在受注している、NHK向け低騒音型シェルター、発電所向け非常用消化ポンプセット、宝くじ売り場ユニット、防衛省防護艦装備品、エネルギー関係設備等の受注拡大を図る。発電機筐体についてもステンレス製3mm超筐体のバッテリー式発電機が増えることが見込まれている。

従業員は全員JIS免許を取得しており、技術力をアピールし、今後も設備導入を検討しながら、新規受注先を拡大していく。大型筐体、コンテナ製造分野のナンバーワン企業を目指す。



エンジン式ウォータージェットカッター。